



SwanLink

第3号 2018年9月



アンケートのご協力ありがとうございました

先月、市内の医療機関・介護事業所を対象に『退院支援における在宅医療・介護連携に関するアンケート調査』を実施しました。総勢約430名もの方からご回答をいただくことができました。現在、退院支援における多職種間連携の状況や課題について、情報を整理・分析しているところです。今回は一部ですが、結果をお知らせしたいと思います。集計結果は、随時「SwanLink」でお知らせしていきます。今後は、この結果を元に多職種間連携に関する研修会等を企画していきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

退院支援において、在宅医療・介護等の多職種間連携について困ることや課題と感ずることとは？(一部抜粋)

医療機関

○関わる人によって、支援にばらつきが見られる。誰が支援しても、同じ支援ができるようになるといい。

(精神保健福祉士)

○早期から支援できず、退院直前にケアマネ等と調整を行わないといけなくなってしまうことがあり、今後の課題である。(社会福祉士)

○退院前だけではなく入院後に複数回、多職種間でカンファレンスをする必要がある。(看護師)

○情報伝達が不十分。役割分担が在宅・病院では異なり、目的が一致しない。(看護師)

○老老介護の家庭が多く、退院後の在宅生活に不安を感じる。(看護師)

介護事業所

○多職種連携などの研修も良いが、名前と顔がわかり、更に医療・介護ビジョンをフランクに語りあえるような「場」が安来市において創り出せると、より良い連携や支援へつながるのではないかと思う。(介護支援専門員)

○サービス担当者会議を開催しなければならない事も多くなっており、他職種の参加調整が難しい。

(介護支援専門員)

○退院支援に関してだけではなく、多職種間の密な連携をさらに取る必要があると感じる。

(介護福祉士)

○退院しなくても入院後に退院調整カンファレンス等を、定期的に医師を交えてしてみてもいいのではと思う。(看護師)

当センターへのご意見をいただきました

○在宅医療支援センターの役割を明確化していくこと、さらにその役割を市外の医療機関等に周知していくことが必要と思う。

○定期的に定例会(連絡会)を開催し、情報交換の場が必要と思う。



安来市地域連携室連絡会



2018/06/27

6月に、第4回安来市地域連携室連絡会を開催しました。今年度は、米子市内医療機関との更なる連携強化を進めるため、米子市内の地域連携室のご担当者様をお招きして開催することと致しました。今回は、鳥取大学医療福祉支援センター・入退院センターの職員の方々にお越しいただき、安来市内3病院の概要説明のあと、意見交換を行いました。今後も米子市内の医療機関との連絡会を企画していく予定です。

安来市内の医療・介護情報について

様々な医療・介護情報が掲載されています。1回/年更新です。

鳥根県医療機能情報システム

<http://www.mi.pref.shimane.lg.jp>



病院
診療所
歯科診療所
薬局
の情報を検索できます

鳥根県介護サービス情報公表システム

<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp>

「島根」 → 「介護事業所を検索する」 → 「地図」「サービス」「住まい」「条件検索」



勉強会の お知らせ

当センターでは、下記日程で『在宅看取り勉強会』を開催します。参加は無料ですが、準備の都合上、申込みが必要です。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

在宅看取り勉強会

講師：出雲市在宅専門 ホームクリニック暖
院長 奥野 誠先生

演題：『気張らない在宅看取り』

日時：2018年10月15日【月】 18:30~20:00

会場：安来中央交流センター 3階会議室



安来市在宅医療支援センター

〒692-0206 鳥根県安来市伯太町安田 1700 番地
(安来市医師会診療所内)

Tel (0854)37-9337
Fax(0854)37-1448